

## 42. 半農半漁地帯の婦人用作業防寒着の地質と型態について

愛知県農林部 奥田 智子

1. 半農半漁地帯の防寒着については不備な点が多い。そこで農作業にも海苔作業にも適する経済的で衛生的な防寒着を作ることを目的とした。

2. まずアンケート，聴取り調査，実物の蒐集等で布地型，防寒並びに耐久性，管理法などの現状を知り，改良すべき点を把握した。地質については既存の実験資料，耐久性，価格等から10名の委員が協議し，ビニロンを選定した。表地の色は希望者の多い紺色を選び，わたについては保温性，乾燥時間，圧縮剛性などの基礎実験を行った結果，性能が良く，安価で入手容易な再生ナイロン綿を用いた。型は綿入さしこ仕立(A)と単衣とチョッキの組合せ式2種(B)及び(B')を試作し，チョッキはさしこ仕立(C)と毛布製(C')とを同一型で試作した。着用実験は20名に2ヵ年間(138日間)改良を加えつつ行った。また一方低温恒温室内での保温効果の測定成績をもだした。チョッキについては洗濯による保温効果，乾燥時間，弾力，厚さなどの変化をみた。

3. (A)は海苔作業に適するが，畑作業には不向である批判もでたので，畑作業に適する(B)と(A)とを指定して着用者に自由に選択させることとした。この作業衣の普及には，既製品並びに自作の両希望を入れ自作については，普及員がその指導に当ることになっている。